

校訓：進取気質（しんしゅかたぎ）の継承

令和元年5月1日制定

平成31年度 学校経営計画

学校経営理念 — 集学伸 —

心一つに 未来を創る 一人一人の輝きを求めて

1 学校経営方針

- (1) 教職員の総力を挙げた組織的・機能的な体制のもとに実践する。
- (2) 「尾道教育みらいプラン2」をふまえ、カリキュラムを主たる手段とし、計画的・系統的な指導を行い、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図り、全生徒が「因北中で学びたい」といえる学校をつくる。
- (3) これまで培ってきた因北中教育を継続的・発展的に推進するためにPDCAサイクルを積極的・意図的に導入する。

2 学校教育目標（ミッション：学校の使命）

「心豊かで自ら求めて学び

生き生きと活動する生徒の育成」

3 ビジョン（実現しようとする未来像）

■めざす学校像 「信頼される魅力ある学校を創る」

- 生徒が生き生きと活動し、楽しく安心して学習・生活できる学校
- 教職員と生徒が協力し、創造的・自主的に活動する学校
- よく整備され、明るく美しい学校

■めざす生徒像 「自主・自律を確立し、社会に通用する資質を身に付けた生徒の育成」

- 高い倫理観、豊かな感性とたくましい実行力を持ち、自分らしい生き方を追求する生徒
- 言葉を大切にし、自ら学び、考え、表現できる生徒
- 広い視野と多様な価値観を大切にし、自ら未来を切り拓き地域から世界へ飛躍する生徒

■めざす教職員像 「アイデンティティを持ち、自律し、挑戦する教職員」

- 教育公務員としての自覚と使命感に燃える教職員
- 教育専門職としての資質と力量を常に研修で磨き、授業で勝負できる教職員
- 学校の教職員集団の一員として、組織的・協働的に活動する教職員

4 学校経営目標（中期経営目標・短期経営目標）

■中期経営目標（3年後）

☆これからの時代に求められる力をつける。

教科で、総合的な学習の時間で、道徳で、特別活動で。

→正解のない未知なる問題に直面した際に、多様な仲間と協力して、主体的にそれを解決しようと、納得解や最適解を導き出せる力を子供たち一人一人につける。

- (1) 確かな学力の向上・・・主体的な学び・対話的な学び・深い学び（輝く瞳）
 - 言葉を大切に、自ら学び、考え、表現させる。（言語活動の充実）
- (2) 豊かな人間性の育成・・・自己指導能力の醸成（温かい心・望ましい人間関係）
 - 高い倫理観、豊かな感性、たくましい実行力、自分らしい生き方の追求をさせる。
 - お互いの個性を認め合い、互いを高め合える集団を育てる。
- (3) 教職員の総力を挙げた組織的、機能的な動き（組織力）
 - コミュニケーションと「報連相」を大切にし、やりがいと誇りの持てる学校づくりを推進する。

■短期経営目標（1年後）

(1)「主体的な学びを促す」授業の創造により、確かな学力を身につける。

- ☆基礎的・基本的な知識・技能の習得・・・何を知っているか、何ができるか。
- ☆思考力・判断力・表現力等の育成・・・知っていること、できることをどう使うか。
- ☆学習意欲の向上・・・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか。

①教室環境の整備

②指導方法の工夫改善による基礎・基本の徹底

- 特別支援教育の視点を取り入れた授業改善
- 「つけたい力」を明確にし「ついた力」を確実にみとる授業づくり
→「めあて」と振り返り
- 教科の本質を明確にし、単元構想を作成
- 小中連携による授業改善
- 「未来につながる」ノートづくりの研究
- 学力分析による授業改善
(学力下位層・中位層への支援の在り方)
- 生徒指導の三機能を生かした授業改善
- ICTを活用した授業改善

③学習集団づくりの確立

- 自己指導能力のある集団の育成
- 学習規律の徹底

④家庭学習の習慣の定着

- 家庭学習ハンドブックによる指導（年3回）

⑤外国語教育の充実

- 総合的な学習の時間の成果物を英訳し、インターネットで発信
- 英語能力判定テストの実施→英検の受験者の増加
- インターナショナルスクールの実施（年2回）
- スカイプによる台湾の中学校との交流

⑥図書館の活用

⑦各種検定受験の奨励（英検・漢検・数検・歴検）

検証：①全国学力・学習状況調査におけるB問題の正答率の上昇 B問題+3ポイント

②中学校卒業時まで英語検定3級を取得している、又は同程度の学力を身につけている。

生徒の割合の上昇 30%→40%

③家庭学習を1時間以上している生徒の割合を70%以上にする。

【目指す教職員像】

- ・特別支援教育への理解
- ・授業改革への発想
(アイデンティティ・自律・挑戦)
- ・コミュニケーションと柔軟性
- ・教室経営のセンス

(2) 組織的・積極的な生徒指導を充実させるとともに、自己指導能力を育成する。

- ①感動ある行事・体験の企画と事前学習の充実
- ②生徒指導・教育相談体制の確立と機能化
 - 小中連携の充実
 - 生徒指導部会の定例開催
 - 教育相談週間の実施
 - アセスの実施と活用
- ③毅然とした指導の徹底
 - 「因北ナビゲーション」(生徒指導規程)に則り、統一した指導の実施
- ④自己指導能力の育成と規範意識・マナーの涵養
 - 生徒指導三機能をいかした教育活動の実施
- ⑤地域創生を柱とする総合的な学習の時間の推進
 - 3年間の系統的カリキュラム開発
 - ITCを活用した効果的な探究的学習の推進
 - ふるさと学習・体験活動の充実
 - 地域人財の活用
- ⑥道徳教育・人権教育・平和教育の充実
 - 校内授業研修の実施
 - 心の教育を充実させる日常的な取組
 - ・あいさつ運動, 無言掃除, ボランティア活動, 校内掲示物の工夫
- ⑦ キャリア教育の推進
- ⑧ 生徒会活動の充実

検証: ①問題行動・いじめゼロ

- ②不登校生徒の学校復帰, 新たな不登校生徒ゼロ
- ③「基礎・基本」定着状況調査質問紙「夢や目標がある」生徒の割合上昇
- ④「基礎・基本」定着状況調査質問紙「自分にはよいところがある」生徒の割合」上昇

【目指す教職員像】

- ・キャリア教育への理解
- ・しつけと伸ばしの技術
- ・教育相談的手法の理解
- ・信頼関係構築
- ・道徳の授業の最重視

(3) 基本的な生活習慣を確立させ、たくましく生きるための健康づくり・体力づくりを推進する。

- ①基本的な生活習慣の確立
 - 3点固定の生活推進
- ②体力・運動能力の向上
 - 部活動の活性化・部長会の定期的開催と指示・指導の徹底
 - 新体力テストの学校得点で全国平均を上回る取組の実施(体育科を中心)
- ③健康教育の充実
 - 保健指導・安全指導の充実
- ④食育の充実

検証: ①体力・運動能力調査の全国平均以上の種目の割合上昇

- ②部活動等による県大会以上への参加チーム上昇
- ③「基礎・基本」定着状況調査質問紙「毎日朝食を食べる」生徒の割合上昇

【目指す教職員像】

- ・健康安全への感性
- ・生命と向き合う姿勢
- ・部活動経営の重視

(4) 生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。

- ①組織的で機動力のある学校運営体制の確立
- ②危機管理・安全管理の徹底
 - 服務規律に関わる校内研修の充実
- ③情報の積極的公開と連携・報告・連絡・相談の重視
 - 各種たより・HPによる情報発信
 - 日常的なこまめな連携
- ④教職員の指導力の向上
 - 主任・主事を中心とした組織の協働化
- ⑤学校評価・人事評価の充実

検証：①生徒・保護者・地域アンケート「学校教育への満足度」

- ②教職員のやりがい満足度
- ③不祥事ゼロ

【目指す教職員像】

- ・組織体制への協力
- ・報告・連絡・相談の重視

5 本年度の重点目標

「積極的生徒指導の充実を基盤とし、教科学力・生活学力の向上をめざす」
～一歩 高みへ～

スクールミッション

「学びを深める」授業改善を通して、結果にこだわる組織体制の確立

■授業改善・主体的な学び・対話的な学び・深い学び

- ①可視化による授業の工夫
- ②『まとめと振り返り』がきちんとかける授業改善
→『ねらい』と『みとり』、『まとめ』と『振り返り』の精度を上げる。
- ③教科の本質の明確化と単元構想
 - ・単元でつきたい力の明確化
 - ・子供たちが追求する必然性のある学習課題の設定
 - ・単元を貫く言語活動の工夫
 - ・逆向き設計の授業づくり

④小集団学習の活用

⑤「未来につながる」ノートづくり

⑥『家庭学習』『反復学習』の徹底

■地域創生を柱とした「総合的な学習の時間」の開発（3年目）

- ①3年間の系統的なカリキュラム開発
- ②ICT活用を通じた効果的な学習活動の推進
- ③教科等関連表の活用

■あいさつの徹底

- ・学びを実行させる強さを育てる。声に出させる場の設定と工夫

■集団づくり・アセスの活用

- ・お互いの良さを認め合い、互いを高め合う集団づくり

□学校経営の重点

■カリキュラムマネジメントの推進

■社会に開かれた教育課程の編成・実施

■基礎・基本の定着を図り、確かな学力を育成する教育課程の編成と実施

- 知・徳・体の調和のとれた創意ある教育課程を作成し、実施する。
- 授業時数確保と学習指導要領に則った各教科等の内容を適切に実施する。
- 指導と評価の一体化を推進し、個に応じた指導方法の工夫改善に努める。

■確かな育ちの育成

- 学校行事や「尾道教育みらいプラン2」事業への参加及び地域行事への積極的参加を通して感動体験を味わわせる。
- 清掃活動や環境美化を充実させ、学習環境を整える。
- 礼儀（あいさつや言葉使い）や感謝の心を育て、社会性を身につける。
- キャリア教育を進め、職業観や勤労観を育てる。
- アセスの実施と活用を図り、学級集団づくりに生かす。
- 総合的な学習の時間の充実
- 道徳教育の充実

■教職員の人材育成と指導力の向上

- 外部講師など学識経験者を招聘し、校内研修を充実させる。
- 研究テーマを設定し、研究した内容を教育研究会などを通して公開する。
- 県立教育センターや公的機関などが主催する研修会に積極的に参加する。
- 学校経営会議を充実させ、提案型の報告とする。（進捗管理の徹底）
- 学校評価と業績評価（自己申告書）をリンクさせ、有効に活用する。

■開かれた学校づくりの推進

- 地域の行事などに積極的に参加し、信頼関係を築く。
- 学校の情報を通信やホームページなどで積極的に発信する。
- アンケート等で保護者や地域の声を把握し、学校運営に生かす。
- 学校評価を有効に活用する。

■確実に効率的な事務処理の推進

- 限られた予算を効果的に配当し、適切に執行する。
- 定められた規則に基づき、的確に事務処理を行い、経理業務を執行する。
- 個人上の保護・保管・処理等に細心の配慮をする。